



シャローム

新年特別号
shalom

第巻六九号
2024.1

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



新年のご挨拶

あまかわ りゅういち
理事長 尼川 龍一

皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は日本バプテスト連盟医療団に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年5月8日に、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に引き下げられました。その後、いわゆる第9波が到来しましたが、2023年11月現在、流行はようやく落ち着きを見せています。当医療団がコロナ禍で得た教訓の一つは「地域連携の重要性」です。すなわち、医療機関、高齢者施設、そして行政の間の相互連携を密にして、地域における感染症対策を「面」で行うことがとても大切であることを学びました。この教訓を今後に生かしていきたいと思います。そして当医療団は、左京区を中心とする地域の医療介護施設の皆様との連携をさらに強化

させていただくことにより、地域の医療介護の発展に貢献できるよう努めてまいります。

さて、本年4月には、「第8次医療計画」と医療・介護・障害福祉サービスの「トリプル改定」が待ち受けています。また、「医師の働き方改革」がいよいよ始まります。さらに、「地域医療構想」「医療DX」「かかりつけ医制度」などの重要課題が山積しています。このように医療界は激動の時代にあると言えますが、医療団職員一同、これらの課題に真摯に取り組むとともに、医療団の基本理念である『全人医療・介護』を粛々と提供してまいります。

皆様におかれましては、本年もご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年度医療団標語聖句（コヘレトの言葉4章9節より）

ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すれば、その報いは良い。

最新80列マルチスライスCT装置導入のお知らせ

当院はこの度、最新の80列マルチスライスCT装置「Aquilion Serve」（キヤノンメディカルシステムズ株式会社製）を導入しました。

新しいCT装置では、AI技術の一つである深層学習（Deep Learning）を用いた画像再構成技術により、少ない被ばく線量でもノイズの少ない高品質な画像を得ることができます。

また開口部が800mmと大きいいため圧迫感がなく、リラックスしながら検査を受けることができます。

本CTの導入により、患者さんの検査時の負担が軽減され、さらに様々な情報を得ることができるため、より正確な診断が可能となります。



Relay Column

バプテスト老健リレーコラム

vol.15 家族会について

かつらだ よしき
介護職員 桂田 善輝



老人保健施設では、年に数回「家族会」を開催しています。

「家族会」は、施設利用されている家族様に利用者様の日ごろの様子をお伝えしたり、介護を担っておられる家族様同士が交流される場です。

家族会を通して、コロナ禍で自由に面会が出来なくなり、毎日元気に過ごせているのか心配されている家族様が多くおられること、独居生活を支えておられた家族様は、施設で生活されていることで安心感を持ってくださっていることなど、家族様の思いを直に感じる事が出来ました。

家族会へ参加したことで、利用者様の日々のご様子を家族様に伝えることの大切さを再確認できました。

これからも、利用者様・家族様に信頼してもらえる介護職を目指して頑張っていきたいと思えます。

薬でつながるちょっといい話



vol.42 アナフィラキシーについて

さとう かずお
薬剤部 佐藤 和生



アナフィラキシーとは、短時間に全身にあらわれる激しい急性のアレルギー反応です。症状は様々で、かゆみ、蕁麻疹、嘔気・嘔吐、動悸、呼吸困難などがあります。アナフィラキシーを引き起こす主な原因として、食べ物、蜂などの虫刺され、医薬品などがあります。

アナフィラキシーを起こすと、次回も同じ物質でアレルギー反応を起こす可能性があります。そのため、ご自身で原因となったものを覚えておきましょう。また入院中に医薬品で起こった場合は、退院時に薬剤師が記録してお渡ししています。さらに電子カルテにも記録し、もし処方してしまった場合でも自動的に警告が現れるシステムになっています。このようにして患者さんの安全を守っています。

食べ物によるアナフィラキシーの経験がある方は自宅や外出先でも再び起こりうる可能性があります。その場合、医師からの指導とともにエピペンというご自身で注射する医薬品を処方されることがあります。万一の場合にもエピペンを使用することでアナフィラキシー症状の進行を緩和し、重篤な状態になることを防いでくれます。



健康・栄養

第52回 ～転倒に注意しましょう vol.2～

しみず けんた
作業療法士 清水 健太



冬は寒いのでどうしても運動量が落ちます。運動量が落ちれば、筋肉量が低下し、転びやすくなるのです。また、冬は厚着をしますよね？厚着をすると、体を動かしにくくなり、ちょっとした段差などに躓きやすくなります。他にも、路面が凍結して転倒することもあります。今年はコロナも5類となり、忘年会、新年会などお酒を飲む機会が増える可能性があります。「お酒を飲んで、転倒した」と言う方は周りには少なからずおられるのではないのでしょうか。冬は転倒リスクを高める要因が多くあり注意が必要です。今回は簡単にできる運動を3つ紹介します。

片足立ち

1. 鼻とお臍と足が一直線に、肩と骨盤が水平になるように立ちます。
2. ゆっくり片足を挙げ姿勢を保持します。出来るだけ肩と骨盤の水平は保ちます。

15秒以下で転倒リスクありと言われています。

簡単にできる人は、目をつぶって足の裏の感覚、身体的位置関係の感覚に注目しながら試してみてください。



つま先立ち

1. 片足立ち同様に、真っ直ぐに立ちます。
2. ゆっくり踵を挙げてつま先で立ち、ゆっくり元に戻ります。(お腹が前に出ないように、つま先の上に胸がくるように) お腹の力を感じながら、つま先立ちをしてください。

簡単にできる人は、片足で行って下さい。片足20回以上出来れば正常範囲です。



ハーフスクワット

1. 片足立ち同様に、真っ直ぐに立ちます。
2. 膝がつま先より前に出ない範囲までゆっくり膝を曲げて、ゆっくり元に戻ります(両腕を前に伸ばすとバランスがとりやすいです)。



転倒予防の運動で転倒しては本末転倒なので、3つの運動に不安がある方は壁や手すりなど支えのある環境で行って下さい。

聖書の小道

第59回

「peacemakers」

平和を実現する人々は、
幸いである、その人たちは
神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書
5章 9節

みやがわ ゆみこ
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



聖書において平和は戦争がない状態だけではなく、平安、健康、繁栄など、人が生きていく上でのあらゆる領域にわたって望ましい状態を表す意味を含んでいます。また「平和を実現する人々」は、英語ではpeacemakersと訳されます。つまり平和とは、願うだけのものではなく、自分たちの生活の中に作り出し、実現していくものです。

平和の実現で思い出されるのに、「ハチドリの一とすく」という話があります。森が燃え、生き物たちがわれ先にと逃げていく中、クリキンディという名のハチドリだけは、口ばしで水を運んで火の上に落としていました。そんなことをして何になるのかと笑う他の動物たちにクリキンディはこう答えるのです。「私は、私にできることをしているだけ。」

私たちにはできることしかできません。けれども、私たちができることをするのとならないので結果は異なります。また、一人一人の力は小さくても、その一人ができることをし続けていく時、共感と連帯と一致が生まれます。そしてそこに、イエスの愛による平和が実現していくのです。新しい年は平和を作り出す年でありますように。

お知らせ

産婦人科病棟Instagramをはじめました！

産婦人科病棟のInstagramをはじめました。バプテストで生まれた赤ちゃんのNew Born Photoや、産婦人科病棟の紹介などを更新していきます。

ぜひフォローをお願いします！



お知らせ

ベビーストーリー

当院でご出産された方の記念に、出産の感動の記録を残していただける、オリジナルフォトムービーのプレゼントをはじめました。

ご家族が撮ったお子さんの写真や動画、メッセージなどを編集したムービーを産後の健診時にお渡しいたします。

＊助産制度をご利用の方はお受け取りいただけません。
ご了承ください。



イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2023.9.1-10.31) 敬称略

宮野 孝文 小田 昌子 奈良 法夫

上田 匿名 2名

編集後記

2023年は新型コロナウイルス感染症が5類となり、徐々にコロナ前の日常を取り戻してきました。インバウンドも回復し、京都の街並みには外国人観光客の姿が多くみられるようになりました。またコロナ禍では当たり前だったマスク姿も屋外では少なくなってきたように感じます。

しかしながら厚生労働省は、医療機関受診時のマスクの着用を推奨しており、当院には重症化リスクを持つ患者さんが多くおられることから、館内ではマスクのご着用をお願いしております。ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.169 2024年1月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 尼川 龍一 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <https://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <https://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <https://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト居宅介護支援事業所 <https://www.jbh.or.jp/about/section/chiiki/chiiki-renkei/kyotaku.html>